

福音

死を喪失した時
羞恥に取り囲まれ
創造を重ねる

生は永遠なるものなれば
守られるべきものではなく
無限に拡大する

果てしなく続くと知られた生活も
揺らめく心は無機化するに足らず
豊饒に豊饒を重ねる

パンドラの箱は閉じられることなく
揺らめく心は放浪う
かき立てられ続ける焦燥に突き動かされて

争いは無論絶えることなく
生の空しさも変わることなく浮遊し
希望もまた絶えることはない

かつて生を規定するものは死であったが
死を喪失した今、それを規定するものは
それは羞恥である

限りなくその姿を変えてゆくその者こそは
この生を魅力あるものとする欲望の源泉
神の与えたもうた最大の賜りもの

死を救いと頼む者は私に従属するがいい
そして知るがいい
何者も絶望を与えてくれはしないことを

今や死こそは弱者の福音となったのだ
神に祈るしか術のないものとなったのだ
かつて平等の源泉であった死こそは！

(1992.2.20)